

一般ノ地方制度ヲ準行スルノ時ニ至ルマテ此ノ法律ヲ施行セス

衆議院法註釋終

衆議院議員撰舉法附錄						東京府 議員總數十二人																			
區一第	區二第	區三第	區四第	區五第	區六第	區七第	區八第	區九第	區十第	區十一第	區十二第	京都府	議員總數七人												
麴町區	赤坂區	芝區	京橋區	日本橋區	本所區	深草區	淺草區	下谷區	本郷區	小石川區	牛込區	四谷區	東多摩郡	南豐島郡	北豐島郡	南足立郡	南葛飾郡	荏原郡	伊豆七島郡	何鹿郡	天田郡	船井郡	北桑田郡	南桑田郡	
一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	二人	二人	一人	一人

區六第	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	兵庫縣 議員總數十二人
加多加	印加	美明八	氷多	有川菟武	神	
西可東	南古	美石部	上紀	馬邊原庫	戶	
郡郡郡	郡郡	郡郡郡	郡郡	郡郡郡	區	
一	一	一	一	一	一	
人	人	人	人	人	人	

長崎縣 議員總數七人	區十第	區九第	區八第	區七第
	三津	朝發二七出氣美城	穴佐赤揖揖	神神飾飾
	原名	來父方美石多含崎	粟用穗西東	西東西東
	郡郡	郡郡郡郡郡郡	郡郡郡郡	郡郡郡郡
	一	二	二	一
	人	人	人	人

新瀉縣 議員總數十三人	區一第	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第
	西新瀉	下上	南	石壹北	南	北東	西長
	瀨瀨	縣縣	松浦	田岐浦	高來	高來	彼杵
	原區	郡郡	郡	郡郡郡	郡	郡郡	郡區
	一	一	一	一	一	一	二
	人	人	人	人	人	人	人

百五十九

區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	大坂府 議員總數十八人	區六第
熊豐島	住東西	南	北東	西		熊竹中與加
勢島下上	吉成成					野野謝佐
郡郡郡	郡郡郡	區	區區	區		郡郡郡
一	二	一	一	一		一
人	人	人	人	人		人

區九第	區八第	區七第	區六第
日南	泉大堺	澁大丹志丹錦安古八石	高若河讚交茨
根	鳥	川縣北紀南部宿市上川	安江內良野田
郡郡	郡郡區	郡郡郡郡郡郡郡郡	郡郡郡郡
一	一	一	一
人	人	人	人

區六第	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	神奈川縣 議員總數七人
足足	大	津愛高	鎌三	都橘久	橫	
柄柄	住	久甲座	倉浦	筑樹	濱	
下上	住	井	郡郡	郡郡	區	
郡郡	郡郡	郡郡	郡郡	郡郡	一	
一	一	一	二	一	一	
人	人	人	人	人	人	

百五十八

區七第	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
天周望	長上夷	武山	匪海	香	南下印東
羽准陀	柄植隅	射邊	瑩上	取	相植旆
郡郡郡	郡郡郡	郡郡	郡郡	郡	馬生旆
一	一	一	一	一	郡郡郡
人	人	人	人	人	二
					人
區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	區八第
新筑	猿西岡	豐具西	那久多	行鹿東	長朝平安
治波	島葛飾	田城田	珂慈賀	方島	狹夷房
郡郡	郡郡郡	郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡
一	一	一	二	二	一
人	人	人	人	人	人
					茨城縣議員總數八人
區一第	區四第	區三第	區二第	區一第	區六第
平廣山	奈長縣	梁足安	寒下都	芳河	北河信
群瀬邊	議員總數	田利蘇	川賀賀	賀內	相馬郡
郡郡郡	四	郡郡	郡郡	郡	議員總數
一	一	一	二	一	五
人	人	人	人	人	人
					朽木縣議員總數五人

區八第	區七第	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
西中	東中	南北	三古	南	中	巖東北
頸頸	頸魚	魚魚	島志	蒲原	蒲原	蒲原
城城	城沼	沼沼	郡郡	郡	郡	郡郡
郡郡	郡郡	郡郡	郡	郡	郡	郡
二	二	一	二	一	一	二
人	人	人	人	人	人	人
區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	區九第	
秩那賀	兒男	榛榛	北北	南	羽加雜	
父珂美	玉余	澤羅	北北	南	茂茂太	
郡郡	郡郡	郡郡	郡郡	郡郡	郡郡	
一	二	二	二	一	一	
人	人	人	人	人	人	
					埼玉縣議員總數八人	
區一第	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	
市千	千葉縣	碓北	吾片	南多	北利	
原葉	議員總數	甘樂	妻岡	綠那	南東	
郡郡	九	郡郡	郡郡	郡郡	勢多	
一	一	一	一	一	一	
人	人	人	人	人	人	
					群馬縣議員總數五人	

區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	靜岡縣 議員總數八人	區一十第
磐山豐周	城佐榛	益志	庵富	有安		八渥
田名田智	東野原	津太	原土	渡倍		名美
郡郡郡	郡郡郡	郡郡	郡郡	郡郡		郡郡
一	一	一	一	一		一
人	人	人	人	人		人

滋賀縣 議員總數五人	區三第	區二第	區一第	山梨縣 議員總數三人	區七第	區六第
	南西東	北南東	中北西	駿田君賀那	鹿引濱敷	長
	巨八八	都都山	巨巨山	東方澤茂賀	玉佐名知	上
	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡
	一	一	一	二	一	一
	人	人	人	人	人	人

區二第	區一第	岐阜縣 議員總數七人	區四第	區三第	區二第	區一第
安不	各方厚		阪伊東西	蒲神愛犬	栗野甲	高滋
八破	務縣見		田香井井	生崎知上	太洲賀	島賀
郡郡	郡郡郡		郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡
一	一		一	二	一	一
人	人		人	人	人	人

區三第	區二第	區一第	三重縣 議員總數七人	區三第	區二第
朝員桑	河奄鈴三	一安		吉宇	忍葛葛高十字式
明辨名	曲藝鹿重	志濃		野智	海下上市市陀下
郡郡郡	郡郡郡	郡郡		郡郡	郡郡郡郡郡郡
一	一	一		一	二
人	人	人		人	人

區三第	區二第	區一第	愛知縣 議員總數十一人	區六第	區五第	區四第
西東	愛	名古屋		伊名山阿	南北英答度	多飯飯
春日井	知郡	區		賀張田拜	牟牟	氣野高
郡郡	郡	區		郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡
一	一	一		一	二	一
人	人	人		人	人	人

區十第	區九第	區八第	區七第	區六第	區五第	區四第
寶南	東西額	幡碧	知	海海	中	葉丹
飯設樂	加加田	豆海	多	西東	島	栗羽
郡郡	郡郡郡	郡郡	郡	郡郡	郡	郡郡
一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人

福島縣 議員總數七人		區一第	區二第	區三第	區四第
伊達郡	安積郡	田村郡	南會津郡	北會津郡	大河郡
一人	一人	二人	二人	二人	
長野縣 議員總數八人		區一第	區二第	區三第	區四第
磐前郡	磐城郡	北安曇郡	南安曇郡	上伊那郡	下伊那郡
一人	二人	一人	一人	一人	
山形縣 議員總數六人		區一第	區二第	區三第	區四第
江刺郡	膽澤郡	加美郡	志保郡	玉造郡	遠田郡
一人	一人	一人	一人	一人	
青森縣 議員總數四人		區一第	區二第	區三第	區四第
東磐井郡	西磐井郡	上北郡	下北郡	三戶郡	東津輕郡
一人	一人	二人	二人	二人	

百六十五

福島縣 議員總數七人		區一第	區二第	區三第	區四第	區五第	區六第	區七第
伊達郡	安積郡	田村郡	南會津郡	北會津郡	大河郡	吉田郡	大田郡	益城郡
一人	一人	二人	二人	二人	一人	一人	一人	一人
長野縣 議員總數八人		區一第	區二第	區三第	區四第	區五第	區六第	區七第
磐前郡	磐城郡	北安曇郡	南安曇郡	上伊那郡	下伊那郡	上伊那郡	諏訪郡	上伊那郡
一人	二人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
山形縣 議員總數六人		區一第	區二第	區三第	區四第	區五第	區六第	區七第
江刺郡	膽澤郡	加美郡	志保郡	玉造郡	遠田郡	遠田郡	遠田郡	遠田郡
一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
青森縣 議員總數四人		區一第	區二第	區三第	區四第	區五第	區六第	區七第
東磐井郡	西磐井郡	上北郡	下北郡	三戶郡	東津輕郡	東津輕郡	東津輕郡	東津輕郡
一人	一人	二人	二人	二人	一人	一人	一人	一人

百六十四

區一第	島根縣	區三第	區二第	區一第	島取縣	區四第
意秋島	日會汗	八久河	高氣草	智八八	巖法邑	礪波郡
宇鹿根	野見入	橋米村	多郡郡	頭東上	美美郡	郡
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人

區一第	岡山縣	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
兒邑上	知海穩	周鹿美	那邑安	邇神楯	出飯大	能仁多
島久道	夫土地	吉足濃	賀智濃	摩門縫	雲石原	多義郡
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
二	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人

區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
東東西	阿哲川	後小淺	下賀窪	和警赤
北南北	賀多上	月田口	道陽屋	氣梨阪
條條條	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡	郡郡郡
一	一	一	一	一
人	人	人	人	人

區三第	區二第	區一第	秋田縣	區四第	區三第	區二第
由河	鹿北山	南秋田	議員總數五人	北最上	東田川	西南東
利邊	角秋本	郡		村山郡	川郡	置賜郡
郡	郡	郡		郡	郡	郡
一	一	一		一	二	一
人	人	人		人	人	人

區一第	石川縣	區四第	區三第	區二第	區一第	福井縣	區四第
石金	敦大遠	三丹今	南	阪吉	大足	議員總數四人	雄平仙
川澤	賀飯敷	方生立	條	井田	野羽		勝鹿北
郡	郡	郡	郡	郡	郡		郡
二	一	一	一	一	一		二
人	人	人	人	人	人		人

區三第	區二第	區一第	富山縣	區四第	區三第	區二第
射水	下新川	婦上	議員總數五人	珠鳳	鹿羽河	江能
郡	郡	新川		洲至	島咋北	沼美
郡	郡	郡		郡	郡	郡
一	一	二		一	二	一
人	人	人		人	人	人

香川縣 議員總數五人	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	德島縣 議員總數五人	區三第
	三美	板野	麻阿	海那	勝名		區三第
	好馬	野郡	植波	部賀	浦東		西牟
	郡一	郡一	郡一	郡一	郡一		東婁
	人	人	人	人	人		郡二

愛媛縣 議員總數七人	區五第	區四第	區三第	區二第	區一第	山口縣 議員總數七人	區一第
	三豐	那多	阿鶴	三寒	小大		區九第
	野田	珂度	野足	木川	豆田		惠三
	郡一	郡一	郡一	郡一	郡一		蘇上
	人	人	人	人	人		郡一

高知縣 議員總數四人	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第	和歌山縣 議員總數五人	區二第
	北南	東西	宇新	上喜	周桑		區一第
	字字	字字	摩居	浮多	布村		有海
	和和	和和	郡郡	穴多	郡郡		田部
	郡一	郡一	郡一	郡一	郡一		郡二

廣島縣 議員總數十人	區七第	區一第	區二第	區三第	區四第	區五第
	久米	安廣	佐伯	山高	三三	加茂
	米北	島區	郡一	縣宮	高田	郡一
	南條	郡二	郡一	郡郡	郡郡	郡一
	條郡	人	人	人	人	人

山口縣 議員總數七人	區六第	區七第	區八第	區九第	區一第
	豐田	世御	安沼	品治	吉數
	郡一	羅調	那限	石治	美爾
	人	郡一	郡一	郡一	郡二
	人	人	人	人	人

和歌山縣 議員總數五人	區二第	區三第	區四第	區五第	區一第
	阿武	赤問	都濃	玖珂	和歌
	島津	關區	毛郡	郡一	山區
	郡一	郡一	郡二	郡一	郡二
	人	人	人	人	人

區四第	區三第	區二第	區一第	熊本縣	區三第	區二第
下益城郡	阿蘇郡	山鹿郡	宇土郡	熊本區	藤津郡	西松浦郡
一	二	一	二	議員總數八人	一	一
八	人	人	人		人	人

區一第	鹿兒島縣	區三第	區二第	區一第	宮崎縣	區六第	區五第
取熊大郡	鹿兒島郡	西白杵郡	東諸縣郡	北諸縣郡	南諸縣郡	天草郡	球磨郡
一	議員總數七人	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人

區七第	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
大島郡	東諸郡	南諸郡	北諸郡	高城郡	阿蘇郡
一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人

百七十一

區三第	區二第	區一第	福岡縣	區三第	區二第
穗波郡	夜須郡	早良郡	福岡區	安藝郡	吾川郡
一	二	一	議員總數九人	一	二
人	人	人		人	人

區一第	大分縣	區八第	區七第	區六第	區五第	區四第
大分郡	上毛郡	仲津郡	京田郡	三池郡	下妻郡	上妻郡
一	議員總數六人	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人

區一第	佐賀縣	區六第	區五第	區四第	區三第	區二第
三養基郡	小神郡	宇佐郡	東國郡	西國郡	日田郡	直入郡
二	議員總數四人	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人

百七十

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ會計法ヲ裁可シ之ヲ公布セ
シム

御名 御璽

明治二十二年二月十一日

- 内閣總理大臣 伯爵黑田清隆
- 樞密院議長 伯爵伊藤博文
- 外務大臣 伯爵大隈重信
- 海軍大臣 伯爵西郷從道
- 農商務大臣 伯爵井上馨
- 司法大臣 伯爵山田顯義
- 大藏大臣兼内務大臣 伯爵松方正義

- 陸軍大臣 伯爵大山巖
- 文部大臣 子爵森有禮
- 遞信大臣 子爵榎本武揚

法律第四號會計法註釋

鈴木漸吉註釋

(註)我日本全國ノ會計即チ金錢出納ノ大要ハ憲法第六十二條乃至第七十二條ニアリ
本法ハ其詳細ナル方法ヲ規定シタルナリ

第一章 總則

(註)本章ハ會計年度、歲出歲入、經費ノ支出方等本法各章ニ定メタル取扱方ヲ總括
シタルモノナリ

第一條 政府ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌

年三月三十一日ニ終ル

一 會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關ル事務ハ
翌年度十一月三十日マテニ悉皆完結スベシ

(註)會計年度トハ金銀出納上便宜ノ爲メ曆年度ノ如ク一月ヨリ十二月迄ヲ以テ一年トナサズシテ某月ヨリ某月ニ至ル十二月ヲ以テ一年度トナスヲ云フ即チ會計年度ハ其年ノ四月ヨリ翌年ノ三月ニ至ル十二月トス

翌年度トハ假令ハ明治二十三年度ナレハ其翌年度即チ明治二十四年度ヲ云フ

第二條 租稅及其ノ他一切ノ收納ヲ歳入トシ一切ノ
經費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ總豫算ニ編入スヘシ

(註)收納トハ政府ニテ受取ルヲ云フ經費トハ年々必ラス入用ナル金額ヲ定メタル入費ヲ云フ

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ

他ノ年度ニ屬スベキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタル
モノ、外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス

(註)各官廳ニ於テハ年々定マリタル經費アルヲ以テ一切ノ費用ハ其經費ヨリ支拂ヲナスヘキモノナレバ他ニ資金ヲ要スルノ理ナレ故ニ特別ノ資金ヲ所有スヘカラスト定ム但法律又ハ勅令ニテ資金ヲ有セシムルコトヲ定メラレタルモノハ格別ナリトス

第二章 豫算

(註)憲法第六十四條ニ歳入歳出ハ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ示サレタルニヨリ本章ニ於テ其提出ノ方法及總豫算ナルモノハ如何ナル費用ナルカヲ明ニシ又大藏省ニ於テ發行スル證券ノ制限等ヲ示シタルモノナリ

第五條 歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ

始ニ於テ之ヲ提出スベシ

第六條

歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ

大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ

總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添附ス

ヘシ

第一 各省ノ豫定經費要求書但シ各項中各目ノ明

細ヲ記入スヘシ

第二 其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ

歳入歳出現計書

(註)經常トハ一定シテ變ラサル入用ヲ云フ款項トハ區別シテ書クコトナリ

第七條 豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ

第一 豫備金

第二 豫備金

第一 豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ

モノトス

第二 豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充

ツルモノトス

(註)憲法第六十九條ニ避クヘカラザル豫算ノ不足ヲ補フ爲メ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲メ豫備費ヲ設クヘシトアルニ因リ本條ニ於テ豫備費目ノ設ケ方ヲ示シタルナリ

第八條 豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後

帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

(註)政府一切ノ費用ハ經費ヲ以テ支辨スヘキモノナレド若シ前條ニ掲グル豫備金ヨリ支拂ヲナシタル金額アル片ハ前年度ニ於テ支拂ヲナシタル後翌年度ニ至リテ其事由ヲ明ニシテ帝國議會ニ提出シテ其承諾ヲ求ルモノトス

第九條 毎年度大藏省證券發行ノ最高額ハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム

第三章 收入

(註)本章ハ政府ノ歳入トシテ收納スヘキモノ、手續ヲ示ス

第十條 租稅及其ノ他ノ歳入ハ法律命令ノ規程ニ從ヒ之ヲ徵收スベシ

法律命令ニ依リ當該官吏ノ資格アル者ニ非サレハ租稅ヲ徵收シ又ハ其ノ他ノ歳入ヲ收納スルコトヲ

得ス

(註)徵收トハ取立ルコト當該官吏トハ其事務ヲ掌トル官吏ヲ云譬ハ租稅ノ取立ヲナスニハ收稅官吏其他ノ歳入ノ取扱ヲナスニハ會計官吏ヲ指ス

第四章 支出

(註)本章ハ年々帝國議會ニテ議決シタル歳出額ヲ支出スルノ方法ヲ掲載シタルナリ
第十一條 毎會計年度ニ於テ政府ノ經費ニ充ツル所ノ定額ハ其ノ年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

(註)其年度トハ假令ハ明治二十三年度ノ定額ナレバ二十三年度ヲ指ス蓋シ其年度ノ定額ヲ其年度中ニ支出セザル片ハ收入支出ノ決算ヲナスコト能ハザルニヨル

第十二條 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

國務大臣ハ其ノ所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

(註)彼此流用トハ譬ハ官吏ノ俸給金高何程旅費ノ金高何程ト定メタルニ一方ノ殘金ヲ以テ一方ノ不足ヲ補フヲ云フ所管トハ假令ハ内務大臣ニ在テハ内務本省、土木監督署、集治監、警視廳、府縣ヲ管理スルヲ云フ其他ノ各省ニモ各其管理スル所アリ

第十三條 國務大臣ハ其ノ所管定額ヲ使用スル爲ニ國庫ニ向ヒテ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ別ニ定ムル處ノ規程ニ從ヒ他ノ官吏ニ委任シテ仕拂命令ヲ發セシムルコトヲ得

(註)國庫トハ全國ノ歲入金ヲ取扱フ所ナリ

第十四條 國庫ハ法律命令ニ反スル仕拂命令ニ對シテ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 國務大臣ハ政府ニ對シ正當ナル債主若ハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金仕拂ヲ爲サシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

第一 國債ノ元利拂

第二 軍隊軍艦及官船ニ屬スル經費

第三 在外各廳ノ經費

第四 前項ノ外總テ外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第五 運輸通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂

ヲ爲ス經費

第六 廳中常用雜費ニシテ一箇年ノ總費額五百圓

ニ滿タサルモノ

第七 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第八 各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費但シ

一主任官ニ付三千圓マテヲ限ル

(註)債主トハ金錢ヲ受ルヘキ權利アル人ヲ云フ政府ノ命シタル銀行トハ日本銀行ヲ

云フ本法第三十一條參看スヘシ國債トハ國家ノ借金ヲ云フ

凡テ國庫ヨリ仕拂ヲナスニハ現金ノ前渡ヲナサ、ルヲ例トス然レハ本條第二項

ノ各項ノ如キハ現金ノ前渡ヲナサ、ル片ハ實際ニ差支ヲ生スルヲ以テナリ

第五章 決算

(註)憲法第七十二條ニ國家ノ歳出歳入ノ決算ヲ帝國議會ニ提出スルノ明文アルニ因リ本章ニ於テ其方法ヲ示シタルナリ

第十六條 會計檢査院ノ檢査ヲ經テ政府ヨリ帝國議

會ニ提出スル總決算ハ總豫算ト同一ノ様式ヲ用井

左ノ事項ノ計算ヲ明記スヘシ

歳入ノ部

歳入豫算額

調定済歳入額

收入済歳入額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

仕拂命令済歳出額

翌年度繰越額

第十七條 前條ノ總決算ニハ會計検査院ノ検査報告

ト俱ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

第一 各省決算報告書

第二 國債計算書

第三 特別會計計算書

第六章 期滿免除

(註)期滿免除トハ或ル期日ヲ過ケタルニ因リ其爲スヘキ事ヲ用捨スルヲ云フ本章ハ政府ヨリ人民ニ對シ又人民ヨリ政府ニ對スル義務ヲ免ル、年限ヲ示ス要スルニ年數ヲ多ク過キタル後ハ双方ノ書類完備セス且事務ヲ整理スル能ハサルニ因ル

第十八條 政府ノ負債ニシテ其ノ仕拂フヘキ年度經

過後滿五箇年内ニ債主ヨリ支出ノ請求若ハ仕拂ノ

請求ヲ爲サザルモノハ期滿免除トシテ政府ハ其ノ

義務ヲ免ル、モノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五箇年内ニ上納ノ告知ヲ受ケサルモノハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

(註)告知トハ知ラスコト云フ

第七章 歳計剩餘定額繰越豫算外收入及定額戻入

(註)本章ハ年々支出ノ定額ニ剩餘ヲ生シタル金員又ハ其年度支出ノ定額ヲ翌年度ニ繰越シテ使用スルコト豫算外收入ノ組入方及返納シタル金員ヲ定額ノ内ヘ戻入ル、ノ手續ヲ示シタルナリ

第二十條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第二十一條 豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲ニ事業ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

(註)一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニテ云々其年ノ會計年度内ニ全ク終ルヘキ見

込ヲ以テ工事又ハ製造ニ着手シタルニ洪水其他ノ變災又ハ戦争等ノ爲メ着手スル能ハザルニ由リ止ムコトヲ得ズ事業ヲ止メ其年度内ニ全ク落成スルコト能ハスシテ翌年ノ會計年度ニ渉ルヲ云フ本條ノ如キハ通常ナキ事柄ナレモ万一ニ生シタル所ノ取扱方ヲ示シタルナリ

第二十二條 數年ヲ期シテ竣工スヘキ工事製造及其

ノ他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ竣工年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

(註)數年ヲ期シテ竣工スル所ハ五六年ヲ費サ、レバ落成スル能ハサルヲ云フ繼續費トハ假令ハ百万圓ノ工事又ハ製造ヲナスニ五年間其時日ヲ要スルニ因リ年々二十萬圓ツ、支拂ヲナスヲ云フ遞次トハ順次ノコト

第二十三條 誤拂過渡トナリタル金額ノ返納出納ノ

完結シタル年度ニ屬スル収入及其ノ他一切豫算外ノ収入ハ總テ現年度ノ歳入ニ組入ルヘシ但シ法律勅令ニ依リ前金渡概算渡繰替拂ヲ爲シタル場合ニ於ケル返納金ハ各々之ヲ仕拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入ルコトヲ得

(註)誤拂トハ支拂ヲナスヘキモノニアラザルニ誤テ支拂ヲナシタルヲ云フ過渡トハ支拂ヲナスヘキ金額ヨリ多ク渡シ過シタルヲ云フ出納ノ完結トハ出納ノ手續ヲ終リタルヲ云フ概算渡トハ大抵此程ノ金額ニテ支拂ヲナスコトヲ得ヘシト見込テ渡シタルヲ云フ

第八章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

(註)本章ハ政府ニ於テナスヘキ工事(即チ土木)又ハ物件(物品)ト云フニ同シテ賣買

又ハ貸借ヲナスノ方法ヲ示ス

- 第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ豫テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ
- 第一 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ヲ買入レ又ハ借入ル、トキ
- 第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ
- 第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

- 第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ
- 第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレバ製造シ得ベカラサル製造品及機械ヲ買入ル、トキ
- 第六 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其ノ位置又ハ構造等ニ限アル場合
- 第七 五百圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ
- 第八 見積價格二百圓ヲ超エサル動産ヲ賣拂フト

第九 軍艦ヲ買入ルトキ

第十 軍馬ヲ買入ルトキ

第十一 試験ノ爲ニ工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ルトキ

第十二 慈善ノ爲ニ設立セル教育所ノ貧民ヲ備役シ及其ノ生産又ハ製造物品ヲ直接ニ買入ルトキ

第十三 囚徒ヲ備役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ルトキ及政府ノ設立ニ係ル農工業場ヨリ直接ニ其ノ生産又ハ製造物品ヲ

買入ルトキ

第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈善教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フトキ

(註)競争トハ入札法ヲ用ルヲ云フ專有スルトハ一人又ハ一會社ノミ所有シテ他人又ハ他ノ會社ニナキモノヲ云フ政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合トハ假令ハ戦争ノ時ニ當リ臨時ニ砲臺ヲ築ク如ク政府ノ取計方ヲ世ニ公ケニスル能ハサルヲ云フ非常トハ水火風災其他ノ變災ヲ云フ急遽トハ至急ヲ要スルヲ云フ特種ノ物質トハ他所ニナキ物品ヲ云フ特別使用トハ他ニ使用ノ途ナク此事ニ限リテ使用スルモノヲ云フ位置トハ場所ノ事構造トハ「カマヘ」ノ契約トハ約束ヲナスヲ云フ動産トハ持運ヒナシ得ヘキ物品ヲ云ヒ慈善トハ他人ヲ救ヒ

助ケルヲ云フ直接トハ自分ト對手人トノ間ニ他人ノ取次ヲ要セヌコトヲ云フ此
所ニテハ教育所ヨリ直チニ政府ガ買入チナスコトヲ云フ因徒トハ重罪輕罪ノ刑ニ處
セザレテ使役セラル、モノヲ云フ

本條第一項乃至第十四項ニ掲グルモノハ皆一般ノ入札法ヲ用カルコト能ハザルヲ
以テ隨意ノ約定ヲ以テ其物ヲ買買賃借ヲ爲スコト得ト定ムルナリ

第二十五條 軍艦兵器彈藥ヲ除ク外工事製造又ハ物
件買入ノ爲ニ前金拂ヲ爲スコト得ス

第九章 出納官吏

(註)本章ハ出納官吏即チ金錢ノ出納チナス會計官吏ノ責任ヲ規定シタルナリ

第二十六條 政府ニ屬スル現金若ハ物品ノ出納ヲ掌
ル所ノ官吏ハ其ノ現金若ハ物品ニ付一切ノ責任ヲ

負ヒ會計検査院ノ検査判決ヲ受クヘシ

(註)検査判決トハ出納上ニ不都合ノ有無ヲ検査シタル後可否ヲ決スルヲ云フ

第二十七條 前條ノ官吏水火盜難又ハ其ノ他ノ事故
ニ由リ其ノ保管スル所ノ現金若ハ物品ヲ紛失毀損
シタル場合ニ於テハ其ノ保管上避ケ得ベカラザリ
シ事實ヲ會計検査院ニ證明シ責任解除ノ判決ヲ受
クルニ非サレバ其ノ負擔ノ責ヲ免ルコトヲ得ス

(註)保管トハ預カリテ支配スルヲ云ヒ紛失トハ所在ノ知レサルヲ云フ毀損トハ破損
スルヲ云ヒ避ケ得ベカラザリシ事實トハ自分ノ不注意ヨリ出デタルニアラズシ
テ水火盜難其他ノ變災等ニテ免ルベカラサル事故ヲ云ヒ解除トハ解キ放スヲ云
フ

第二十八條 現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ルニ付身元保
證金ヲ納メシムルコトヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ムベシ

第二十九條 仕拂命令ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相
兼ヌルコトヲ得ス

(註)仕拂命令ヲナスヘキ職務ニ居ル官吏ニシテ現金ヲ出納スル事務ヲ兼スルルハ同
途ノ生スルアルヲ以テ之ヲ豫防シテ兼務ヲナサシメサルナリ

第十章 雜則

(註)本章ハ以上各章ニ列記スヘキヲ示シタルナリ

第三十條 特別ノ須要ニ因リ本法ニ準據シ難キモノ
アルトキハ特別會計ヲ設置スルコトヲ得

特別會計ヲ設置スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

(註)國家ノ會計ハ必ラス此法ニ因リテ取扱ヲナスモノナレド特別ノ必要アリテ本法
各條ニ規定シタル手續ニ因リテ取扱ヲナシ難キモノアルハ特別ナル會計法ヲ
設ク其特別ナル會計法ヲ設クントスルハ政府ハ必ラス帝國議會ニテ議決セシ
メタル上法律ニテ之ヲ定ムルモノトス

第三十一條 政府ハ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命ス
ルコトヲ得

第十一章 附則

(註)本章ハ此法律ヲ施行スルニ付テノ諸般ノ規程ヲ示シタルナリ

第三十二條 本法ノ條項帝國議會ニ關涉セサルモノ
ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行シ其ノ關涉スル

モノハ帝國議會開會ノ時ヨリ施行ス
決算ニ係ル條項ハ帝國議會ノ議定ヲ經タル年度ノ
歳計ヨリ施行ス

(註)決算ニ係ル條項ハ帝國議會ニ關係スルハ同議會カ議決セサル豫算ハ其決算ヲ報
告スルノ要ナケレハ同議會カ議決シタル豫算(即二十三年度以降ノ豫算)ヨリ此
法ニ定ムル如ク翌年度ニ於テ其決算ヲ報告スルモノトス

第三十三條 本法ノ條項ト牴觸スル法令ハ各其ノ條
項施行ノ日ヨリ廢止ス

宮内省達第二號

皇族列次ハ實系ノ遠近ニ從ヒ 皇位繼承ノ順序ニ

依ル但シ親王叙品宣下アリシ者ニ限り特殊ノ席次
ヲ以テシ一般ノ列次左ノ通定ム

- 織仁親王
- 晃親王
- 彰仁親王
- 貞愛親王
- 朝彦親王
- 能久親王
- 威仁親王
- 載仁親王

守	邦	邦	輝	恒	成	菊	博	邦	裁	依
正	彦	憲	久	久	久	磨	恭	芳	仁	仁
王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	親

多嘉王
鳩彦王
稔彦王

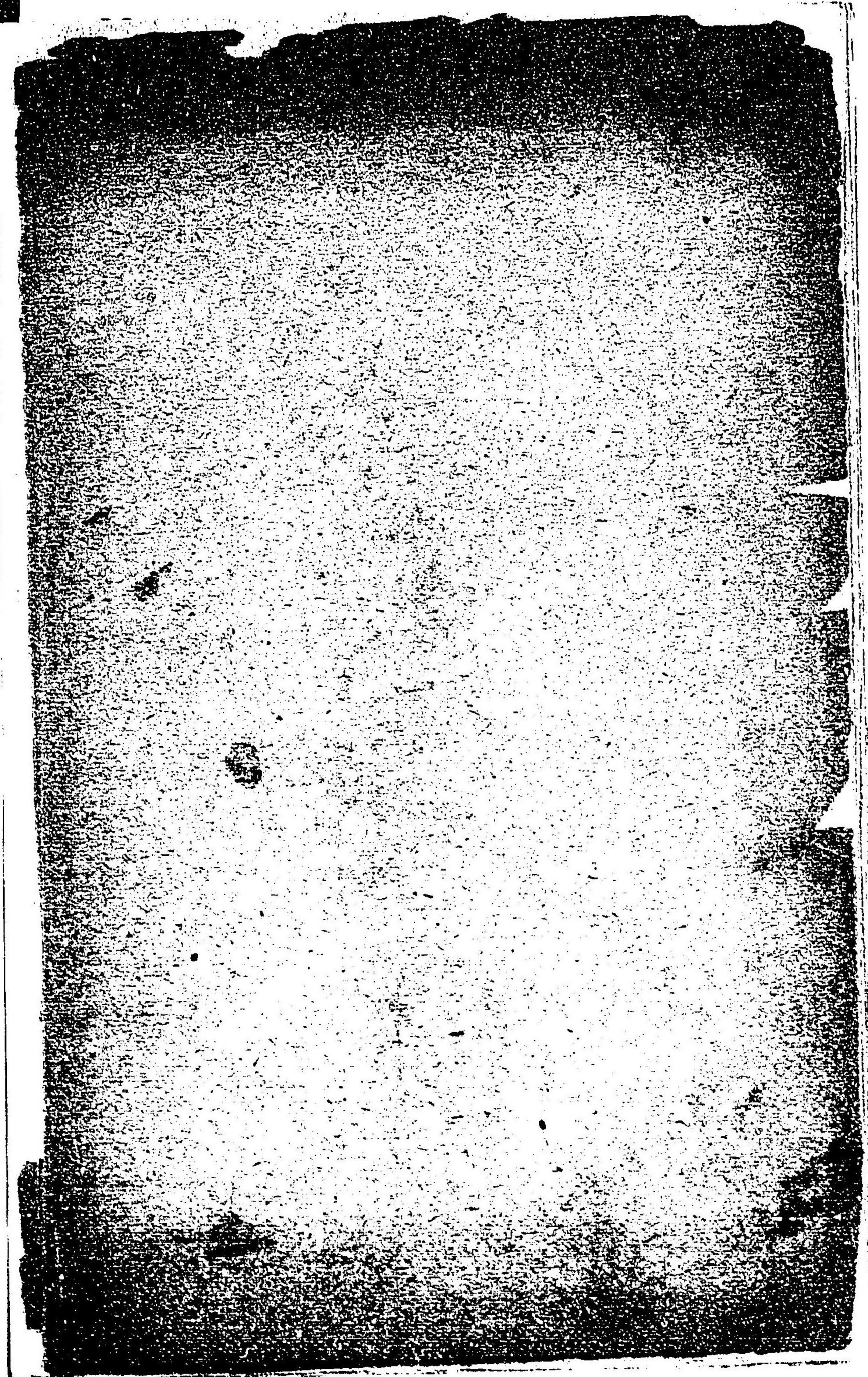
明治二十二年二月十一日

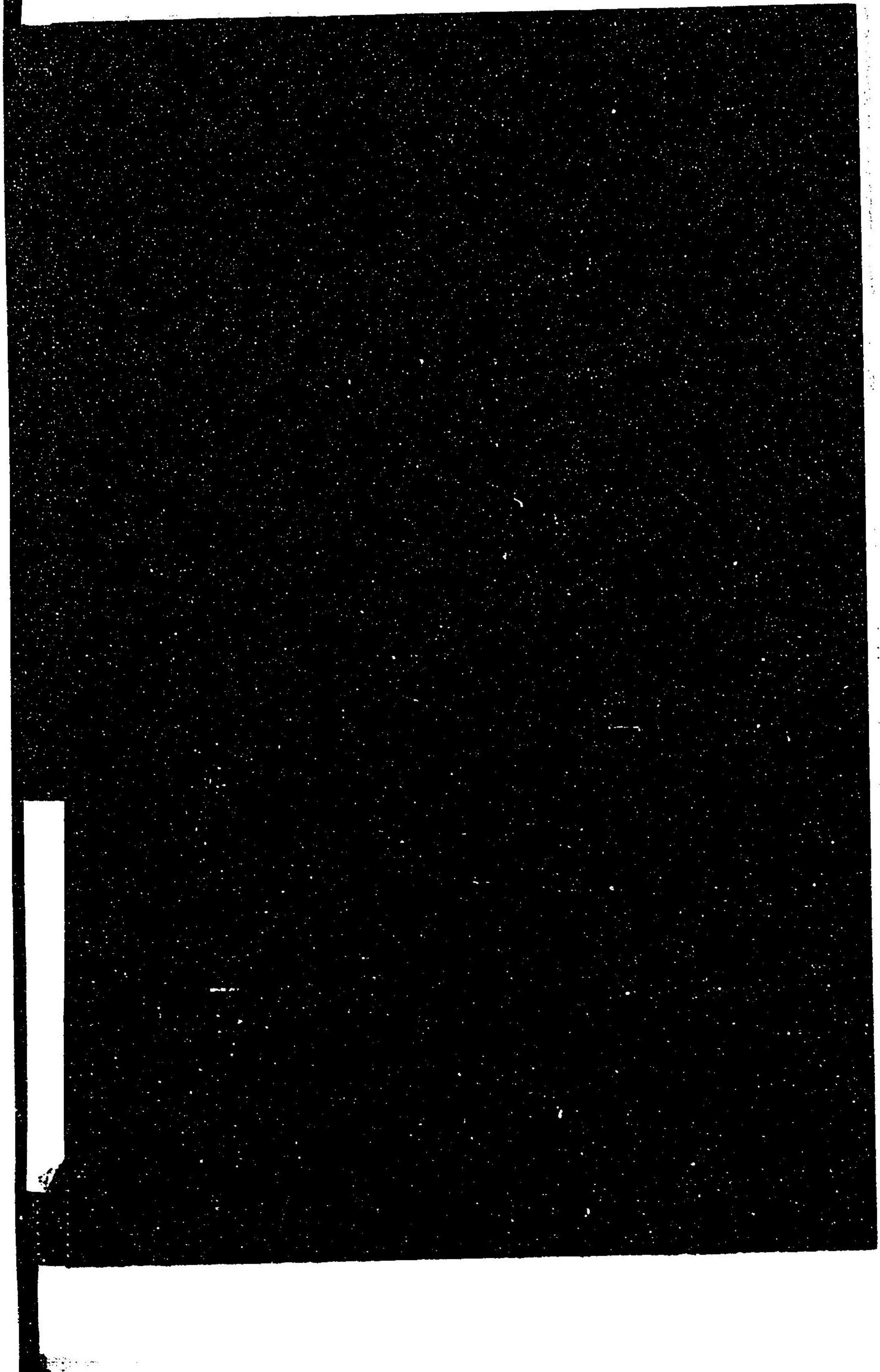
奉勅

宮内大臣子爵土方久元

同 同
同平戶
肥後熊本
河 同
日向郡城
薩摩鹿兒島
同 同
大島名瀬
琉球首里

穎 川 首
山 本 廣 太
長 崎 次 郎
永 井 勝 太
安 樂 嘉 十 郎
吉 田 幸 兵 衛
山 元 正 治
永 瀬 卯 吉
豐 見 城 盛 綱





特14

123

附属法令註釈

鈴木漸吉

国立国会図書館

031608-000-1

特14-123

大日本憲法附属法令註釈

鈴木 漸吉/著

M22

BBE-0235

